

情報通信人材研修事業実施概要報告書

助成対象事業の名称	在宅就業を目指す障害者対象のWebデザイン技術者養成
助成対象事業の概要	<p>目的: 障害者に在宅就業・一般就労できる技術(Webデザイン)を身につけてもらう。</p> <p>背景: 障害者の社会参加・自立が望まれている、また一般就労が難しい障害者には在宅就業が一つの方法と考えられ、その為には技術を身につける必要がある。</p> <p>有効・必要性: 大洲市という地方都市に於いて講習会などを実施することは、同様な地域に生きる障害者に希望を持ってもらうことになる。</p>
助成対象事業の実施内容	<p>研修開始: 平成19年9月1日 研修終了日: 10月6日</p> <p>研修日数: 10日間 50時間 受講者数: 7名</p> <p>研修事業名: 在宅就業を目指す障害者対象のWebデザイン技術者養成</p> <p>研修地域: 愛媛県南部地域研修(大洲市)</p> <p>カリキュラム: ・インターネットの基本 ・e-ラーニングを使ったWebアクセシビリティ研修</p> <p>・ホームページ作成研修 ・画像・動画、Flashの基本など</p> <p>使用設備: 前半5日間は大洲市研修センターのパソコンとインターネット通信環境、ホームページビルダーVer6.4を使用した。</p> <p>後半5日間は大洲市福祉センターで、手持ちパソコンと不足分のレンタルパソコンを使用し、ホームページビルダーVer11とフォトショップエレメントなどを使用した。</p>
助成対象事業による成果・効果	<p>研修参加人数 7名 身体障害者6名(内重度障害者5名)・知的障害者1名</p> <p>効果 6名は初歩的ホームページ作成可能な技術の養成が出来、内5名は今後実習を重ねることにより実務が可能と思われる。また、FlashやアクセシビリティWebの作成の研修は基礎的などところで終わっており、今後の研鑽が望まれる。</p> <p>研修のレベルチェック メールを使ったり、毎日1～2時間の復習の折りに質問などを行い進行具合をチェックした。</p> <p>アンケートの結果 全員済み、概ね良い評価を頂いているが、今後の支援についての期待が多かった。</p> <p>今回の研修についての感想 eラーニング/交通手段の困難な地方在住者には有効と思われる。受講料/予想以上に生活保護や無年金者非課税世帯が多く今後の検討課題としたい。介助/2名の食事と排泄介助と4名の送迎</p>
今後の情報通信人材研修事業の事業計画	<p>松山市</p> <p>現在Web作成業務に必要とされている、「アクセシビリティ」をメインに取り上げた実務研修を計画しています。また、ニーズの多いFLASHを使ったWeb作成に受講希望があり、諸般の事情が許せば実施したいと考えています。</p> <p>愛媛県下の地方都市</p> <p>現在2市に於いて、パソコンの基本やホームページ作成について講習会を開催しています。</p> <p>ともに受講生が4人と人数的に少なく、受講希望者の増加の可能性が見られれば、具体的にWeb作成技術者養成の講座を計画をします。</p>